

日高麟三 （以六等） 小説家。明治四十五年生れ（一九二一）。昭和八年文  
 化學院文藝部卒。富山日報社、實業人之友日本社記者を経て、十五年博  
 文館入社、雑誌『讀海』編輯に當る。この間、作品「藁香」が『サン  
 デー毎日』に入選。戦後の動靜不明。本名日置重男。  
 著作に『愛情列車』（昭和十七年九月八日八社社杉山書店）、『公の  
 ちの榮冠—文藝—粒會作品』（他七名公著・土岐愛作編、昭和十七年  
 十月二十五日恵後産書房）、『頼一族』（昭和十八年二月二十日二邦  
 出版社）等。

